

食わず嫌いはやめよう

第8期OB 岩崎 裕士

昨年2月、東京を襲った大寒波の犠牲になってから、間もなく1年が経とうとしている。今度滑ったら踏んばらず、素直にコケようと思う。ヘルニアで味わった苦しみは忘れられない。

思い出話は早々に切り上げて、この1年で変わらなかったこと、変わったことについて振り返ってみようと思う。

変わらなかったこと。住まいは相変わらず学生時代と同じアパートで、ここでの生活も早9年。こぢんまりとした町で、交通の便もいいところなのでとても気に入っている。仕事帰りに三田製麺所本店で辛つけ麺で腹ごしらえをして、バーに行くなんて社会人らしいことをしてみたり。

変わったこと。仕事の面では、国内営業に異動したことである。それまでは、海外姉妹会社からの対日発注オーダーの納期管理や在庫管理等の業務を担当していたが、9月より国内営業として営業活動を行っている。デスクワークが主で、オフィスから出ることが皆無だった前業務とは勝手が全く違う。毎日顧客訪問し、新アイテムを提案したりクレーム対応をしたりと日々刺激的な経験をしている。長崎生まれ、長崎育ちの私は、学生時代を含めて東京での運転経験がなかったため、異動直後はガチガチになりながらハンドルを握っていた。また、浅草、上野のランチ事情にはかなり詳しくなった。

プライベートでは、2つの“初体験”があった。まずはスノーボード。多くが塾生時代に経験しているであろうこのメジャースポーツを今まで避けて(?)きたのだが、食わず嫌いはいかんということで、ウェアと板を大人買いし、白馬でボードデビューした。2月には富良野デビューも決定している。もう1つは、フットサルである。これも学生、社会人人気が高いスポーツであるが、不思議と縁がなかった。しかし、や



会社の同僚と白馬にて（著者は左端）

ってみると、とんでもなく楽しい。フィールドはほどほどの広さで、日ごろの運動不足を解消するにはうってつけだった。今年は、何事も“まずはやってみる”ことを心掛けていきたいと思う。そんなこんなで充実した1年を過ごすことができた。来年度も殻に閉じこもることなく、新しい経験を積んでいきたい。

今年のOB会は、雪が降って滑ったら、素直にコケようと思う。